

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																																											
東京ベルエポック美容専門学校		平成20年10月31日	川戸 功一	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目24番16号 (電話) 03-5658-9090																																											
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																																											
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																										
衛生	衛生専門課程	メイクファッション科		平成27年文部科学省告示第14号	-																																										
学科の目的	知識・技術、資格を備え、お客様のニーズに応えることができ、お客様、仲間から信頼されるビューティアドバイザー、ファッションアドバイザー、ネイリスト、エステティシャンになる。																																														
認定年月日	平成22年4月1日																																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2年	昼間	114単位	10単位	238単位	0単位	0単位	0単位																																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																									
80人		56人	0人	3人	15人	18人																																									
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験及び臨時試験(論文・レポート含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。A～Fで行う。																																										
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月第4週～8月第4週 ■冬季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第4週			卒業・進級条件	学校長及び学校長が指名した者により構成される卒業進級判定会議を開催し、成績評価のD以上の者を合格とし進級、卒業を認定する。																																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別カウンセリング、保護者連携			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生スタッフ活動・アンスタント現場活動・学校行事実行委員会 ■サークル活動: 有																																										
就職等の状況	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 化粧品会社・ネイルサロン・エステティックサロン等 ■就職指導内容 業界・企業による就職セミナーを実施し、個別面談を通して一人ひとりの希望にあった求人を紹介、指導 ■卒業生数 : 36 人 ■就職希望者数 : 33 人 ■就職者数 : 33 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 91.66 % ■その他 卒業のみ希望:3名 (令和4年度卒業者に関する 令和5年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)																																										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JNECネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル初級検定</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>JESCメイクアップアーティスト検定</td> <td>③</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>日本コスメティック協会コスメマイスター検定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>おもてなしマスター検定</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>CAA化粧品販売員検定(シルバー)</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>CAA化粧品販売員検定(ブロンズ)</td> <td>③</td> <td>37人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>美顔検定</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JNECネイリスト技能検定3級	③	22人	21人	色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	30人	24人	JNAジェルネイル初級検定	③	5人	4人	JESCメイクアップアーティスト検定	③	25人	24人	日本コスメティック協会コスメマイスター検定	③	15人	9人	おもてなしマスター検定	③	30人	30人	CAA化粧品販売員検定(シルバー)	③	18人	18人	CAA化粧品販売員検定(ブロンズ)	③	37人	36人	美顔検定	③	36人	36人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																												
JNECネイリスト技能検定3級	③	22人	21人																																												
色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	30人	24人																																												
JNAジェルネイル初級検定	③	5人	4人																																												
JESCメイクアップアーティスト検定	③	25人	24人																																												
日本コスメティック協会コスメマイスター検定	③	15人	9人																																												
おもてなしマスター検定	③	30人	30人																																												
CAA化粧品販売員検定(シルバー)	③	18人	18人																																												
CAA化粧品販売員検定(ブロンズ)	③	37人	36人																																												
美顔検定	③	36人	36人																																												
				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																											
中途退学の現状	■中途退学者 3名 令和4年4月1日時点において、在学者68名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者67名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 目的意識喪失、進路変更、精神疾患 他 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 中退防止:学生サポートアンケートによる個々の状況把握、個別カウンセリング実施、カウンセラー配置 中退者支援:転校・転科支援			■中退率 4.4%																																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 合格後特待生試験合格者に対し初年度のみ授業料一部免除及びグループ校卒業生・兄妹姉妹グループ校卒業生に対し初年度のみ授業料10万円免除																																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																														
当該学科のホームページURL	https://www.tbe.ac.jp/course/totalbeauty																																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。現場経験、講師経験豊富な企業と連携し教育を提供。カリキュラム、授業手法等、教材作成等の助言の協力が得られる体制がとれる企業を選定。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実践するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記されている。これらに基づき、カリキュラム検討会議で審議し、学校長許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
平松 康成	日本コスメティック協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社 営業本部リテール ヒューマン リソース マネージャー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
藤原 貴之	株式会社イプサ 人事・総務部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
古島 暉大	学校法人滋慶学園 常務理事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
川戸 功一	東京ベルエポック美容専門学校 学校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
三井 真以子	東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
中村 聖之	東京ベルエポック美容専門学校 事務局長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
太田 亜貴子	東京ベルエポック美容専門学校 メイクファッション科リーダー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(5月、10月)

(開催日時)

2022年度 第1回 令和4年6月15日 13:00～15:00実施

2022年度 第2回 令和4年10月28日 13:00～15:00実施

2023年度 第1回 令和5年5月22日 13:00～15:00実施

2023年度 第2回 令和5年10月24日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会では、アフターコロナにおいて良い人材を積極的に採用していることから、即戦力となり、就業定着率も高い専門学校生への期待は大きいと感じた。またブランドPRの一環として社内インフルエンサー活動を取り入れているブランドも増えてきている。技術・知識だけでなく時代に即したデジタルコンテンツに強い人材育成も重要。デジタルEC環境が一般的になった今、各企業は「来店していただく」ことが課題。デジタル以上の付加価値、おもてなしを提供できる人材育成が必要と感じ、「サロンワーク」授業において、技術とおもてなし、カウンセリング力の強化を実施した。また、就職について、自己肯定感が低く、チャレンジすることを怖いと感じる学生が近年増えている。自信をつける機会を在学中に与え、一歩踏みだす力を身に付けさせたい。各委員からの意見、情報をもとに、カリキュラム会議を学内で実施・決定後、教育課程編成委員会にて共有、再度ご意見を頂戴しながら実施した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、業界と連携し、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。そのため、特に演習科目においては現場で活躍するプロが講師として授業を行っている。卒業後即戦力として活躍できる人材を養成するための授業内容を、業界関係者とともに企画立案・実施達成度評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。

連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらう。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクアップ総論Ⅳ	年齢別、嗜好別にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。スチール撮影に適したメイク技術を習得する。	一般社団法人コスメティックアカデミー 全国化粧品販売員検定協会
ヘアメイクⅡ	ヘアメイクを作成するにあたり必要なヘアとメイクのトータル技術を習得する。	株式会社テーブルカンパニー
ネイルケア&アート	美容の職業に就くにあたり、必要なネイル技術・知識を習得する。基礎的な技術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。	株式会社ユミ・クリエイション
パーソナルカラーⅠ	美容に必要な、色の知識を学び、色彩感覚を身に付ける。	色彩活用研究所 株式会社
パーソナルスタイリング	パーソナルスタイリストとして師知識向上。検定対策。	一般社団法人イメージプロデュース協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の基本方針とする。指導力の修得・向上のための研修等として、滋慶教育科学研究所が実施する研修にて1年目向け、2～3年目向け、4～5年目向け等、段階を踏んで計画的に参加をしている。また専攻分野における実務に関する研修等に関しては担当する教員が最新の情報、技術が得られるよう研修に参加をしている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

専任職員を対象に専門分野の研修を受講している。

■研修名:「韓国美容の現状について」(連携企業等:韓国ビューティ産業研究所)

■講師:ビューティ研究所所長 宋

■期間:令和4年9月29日(木)15時～17時

■対象:専任教員

■内容:韓国美容業界

②指導力の修得・向上のための研修等

<学内研修>

■教務研修

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：4月、5月、7月、10月、1月、1月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：教務研修各時期に応じた学生支援についての研修
4月：成年年齢とトラブルについて、5月：心肺蘇生法・AEDの使用法（公益財団法人ライフセービング協会）
7月：夏休みシンドローム対策

■講師研修

- ・年間2回の講師研修を実施（実施月：3月15日、8月18日）
- ・対象：全講師
- ・内容：学科の養成目的に合わせた教授内容の確認
3月：年間授業構成と教授内容の確認（実技内容の確認を含む）
8月：国家試験対策の方針と内容確認

<学外研修>

教授力、指導力の向上を目的とする研修については一般財団法人 滋慶教育科学研究所と連携し、個々の教育経験、在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた教職員の研修を行い、研究にも参加している。

- ・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、5月、7月、9月、11月、1月）
- ・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施
- ・内容：職位別教授技法研修
3月：FDマイクロレベル研修（新入職員対象）、5月：FDマイクロレベル〈レベルアップ〉研修、
5月：FDマイクロレベル〈クラスマネジメント〉研修（学科職員対象）
7月：FDミドルレベル研修（学科責任者対象）、FDマイクロレベル研修（学科責任者対象）、
7月：コーチング研修（学校学科責任者）
9月：カウンセリング研修（新入職員・入職2年目職員対象）、
11月：キャリア教育カウンセラー研修（学科責任者）、フォローアップ研修（入職2年目）
1月：キャリアインストラクター研修、キャリア教育アドバンスド研修（各部署責任者）

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

美容業界において、SNSは情報発信や顧客との接触を促進する協力的なツールとなっているため、専任教員を対象に研修を計画している。

- 研修名：SNS研修
- 講師：大久保翔太
- 連携企業等：Uniiiique
- 期間：令和6年6月10日（月）
- 対象：専任教員
- 内容：美容業界におけるSNSの活用について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

<学内研修>

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：4月、5月、7月、10月、1月、2月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：各時期に応じた学生支援についての研修
- ・受講研修一覧
 - 学生キャリアサポートアンケートを活用し学生支援体制を創る
期間：2023年7月10日
講師：中村聖之（東京ベルエポック美容専門学校 事務局長兼教務部長）
本校受講教員：16名
内容：夏休み明け学生支援・援助方法についての検討
 - 学生指導におけるコーチング方法1
期間：2023年10月16日
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）
本校受講教員：16名
内容：共生コーチングによる人的支援方法を学ぶ
 - 学生指導におけるコーチング方法2
期間：2023年12月11日
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）
本校受講教員：16名
内容：学生支援におけるコーチングの活用方法と実務方法について学ぶ

<外部研修>

一般社団法人 滋慶教育科学研究所と連絡し、教授方法、学生支援・指導方法に関する種々の研修に参加をしていく。

・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、6月、7月、9月、10月、12月、1月）

・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施

・主催：滋慶教育科学研究所

・受講研修一覧

●FDミクロ〈クラスマネジメント〉研修 令和5年7月26.27日

対象：学科職員対象

内容：支援計画とチーム支援、クラスマネジメントワークを学ぶ。

●FDミドルレベル研修 令和5年7月20日

対象：学科責任者

内容：カリキュラムマネジメントの基礎を学び、自学科のカリキュラム開発の課題発見を学ぶ。

●カウンセリング研修(1次) 令和5年9月14～15日、9月26～29日

対象：新入職員

内容：カウンセリング概要、カウンセリング基本、カウンセリング技術、カウンセリング演習

上記各項目について学ぶ

筆記試験により合格者には認定教員カウンセラー(1次)のディプロマが付与される。

●カウンセリング研修(2次) 令和5年9月14～15日、9月26～29日

対象：1次研修終了者

内容：カウンセリング実務、ケーススタディについて学ぶ

筆記試験並びに小論文により合格者には認定教員カウンセラー(2次)のディプロマが付与される

●FDミクロレベル〈レベルアップ〉研修 令和6年1月25.31日

内容：社会からの信頼に応えることの出来る職業人教育の構築と実践のために、教職員の教育力と

マネジメント力(マインド・知識・スキル・コンピテンシー)の組織的な向上を醸成する。

●滋慶教育科学学会 令和5年12月7日

対象：全教務職員

内容：教育実務に関する研究発表及び、教育実務に関する実地報告

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

評価の内容を審議・評価することを通して、学園の理念でもある4つの信頼(学生、保護者、高校、業界、地域)に基づく、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人物像
(2) 学校運営	学校運営、運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3) 教育活動	教育活動、目標の設定・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教育・教員組織
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ、学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務、財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守、関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、国際交流、ボランティア活動
(11) 国際交流	(10)に含む

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果は翌年度における重点課題への反映及び、自己点検・自己評価の各評価項目における到達目標設定に活用する。また、委員から上がった詳細の意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

コロナ禍の学生への様々な影響や合理的配慮が必要な学生への対応、および教育については社会背景の要請に適切してブラッシュアップし学内実習や各導入教育等、見直し・対策を立て、職業意識をもって行動できるよう全ての授業において人間教育を軸に取り組みを行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月18日現在

名前	所属	任期	種別
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャパン株式会社 営業本部リテールヒューマンリソースマネージャー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界団体
高良 成児	株式会社クルー 顧問	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界団体
浅川 潤一	千葉商科大学付属高等学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	高校関係
空田 真之	江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域関係
森光 和美	株式会社トニーアンドガイジャパン スタイリスト	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
山下 久英	保護者代表	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

<https://www.tbe.ac.jp/wp-content/themes/BSC-2018/images/school/info-2020/gakko-hyoka/hyoukaiin.pdf>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業生の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員との間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出た意見を実行案へと反映させている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

<https://www.tbe.ac.jp/school/info>

授業科目等の概要

(衛生専門課程メイクファッション科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育※	目的意識を高め、プロに必要なことが何かを認識する。同じ目的を持った仲間との相互支援環境を作る。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅰ	業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にする。プロになるために自己管理が出来るようになる。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅱ	業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にし、就職内定に向けた身構え、気構え、心構えを身につける。	1後	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅲ	自分の目指す将来像を明確にし、就職内定に向けた準備を行う。美容に対する興味・理解をより深め、将来美容の現場で役立つ知識を身につける。	2前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅳ	自分の目指す将来像を明確にし、就業に向けた準備を行い、将来美容の現場で活躍する為の知識を身につける。	2後	30	2	○			○		○		
○			おもてなし	接客業において必要なおもてなしの心を育む。おもてなしマスター検定に合格する。	1前	30	2		○		○			○	
○			メイクアップ総論Ⅰ	ナチュラルフルメイクと補正メイク皮膚科学と化粧品知識。	1前	60	4		○		○			○	
○			メイクアップ総論Ⅱ	ナチュラルメイクとタッチアップメイクの知識と技術を習得する。	1後	60	4		○		○			○	○
○			メイクアップ総論Ⅲ	様々なテーマやお客様の要望にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。	2前	60	4		○		○			○	
○			メイクアップ総論Ⅳ	年齢別、嗜好別にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。スチール撮影に適したメイク技術を習得する。	2後	60	4		○		○			○	○
○			ヘアメイクⅠ	ヘアの基本技術を習得し、店頭や就職活動にふさわしいヘアスタイルを自分で作れるようになる。	1前	60	4		○		○			○	○
○			ヘアメイクⅡ	ヘアメイクを作成するにあたり必要なヘアとメイクのトータル技術を習得する。	1後	60	4		○		○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ヘアメイクⅢ	テーマに合わせたヘアメイク技術を短時間に仕上げることが出来る。	2前	60	4		○		○			○	○
		○	ヘアメイクⅣ	最新のファッションや流行に合わせたヘアメイクのコーディネートができる。	2後	60	4		○		○			○	
○			フェイシャルエステ	フェイシャルエステの基本知識と基本技術	1前	60	4		○		○			○	
○			ネイルケア&アート	美容の職業に就くにあたり、必要なネイル技術・知識を習得する。基礎的な技術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。	1前	60	4		○		○			○	○
○			ジェルネイル	最新のアートを学ぶ。ジェルネイル検定初級対策	2前	60	4		○		○			○	
○			ファッション総合Ⅰ	ファッションやパーソナルスタイリングの知識を得る	1前	60	4		○		○			○	
○			ファッション総合Ⅱ	ファッションやデザインに合わせたネイル技術を習得する。	1後	60	4		○		○			○	
		○	ファッション総合Ⅲ	スタイリングにあわせたテクニックを習得する。	2前	60	4		○		○			○	
		○	ファッション総合Ⅳ	テーマにあわせてフィッティング技術	2後	60	4		○		○			○	
○			セルフビューティⅠ	自分自身を磨くセルフレッスン(スキンケア～メイク)	1前	60	4		○		○			○	
○			セルフビューティⅡ	インナービューティを鍛える。撮影実習にて想像力を身に付ける。	2後	60	4		○		○			○	
○			グローバルサービス	外国人接客に必要なコミュニケーションを学ぶ(英語・韓国語)	1後	30	2		○		○			○	
○			パーソナルカラーⅠ	美容に必要な、色の知識を学び、色彩感覚を身に付ける。	1後	30	2		○		○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	パーソナルカラーⅡ	色彩感覚を身に付ける パーソナルカラー検定対策	2前	60	4	○			○			○	
○			ブランド研究Ⅰ	様々なブランドの特徴を学び、 同時に発信力も身に着ける。	1後	60	4	○			○			○	
○			ブランド研究Ⅱ	様々なブランドのコンセプトを理解し、ブランド マネジメントを身に着ける。	2前	60	4	○			○			○	
○			ブランド研究Ⅲ	オリジナルのブランドを作成しコンセプトを提 案、ブランドプロデュース力を身に着ける。	2後	60	4	○			○			○	
○			ヨガ	健康に基づく美容を学び、美容意識の向 上とお客様に運動アドバイスが出来るよ うになる。	1後	30	2	○			○			○	
		○	トレンドメイクⅠ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定ブロンズ対策	1後	60	4	○			○			○	
		○	トレンドメイクⅡ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定シルバー対策	2前	60	4	○			○			○	
		○	トレンドメイクⅢ	トレンドにあったメイク技術 マーケットニーズ調査法を身に付ける。	2後	60	4	○			○			○	
○			スキンケアアカ ウンセリングⅠ	店頭で役立つテクニックとカウンセリ ングロールプレイ。 コスメマイスター対策、アロマ検定対 策。	1後	60	4	○			○			○	
○			スキンケアアカ ウンセリングⅡ	スキンケアアカウンセリングロールプレ イで提案力を磨く。	2前	60	4	○			○			○	
		○	スキンケアアカ ウンセリングⅢ	スキンケアアカウンセリングロールプレ イで提案力を磨く	2後	60	4	○			○			○	
		○	トータル ビューティ技 術Ⅰ	エステとジェルネイル技術を習得する。	1後	120	8	○			○			○	
		○	トータル ビューティ技 術Ⅱ	スタイリングにあわせたファッションテクニ ックとネイル技術を習得する。	2前	120	8	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	トータルビューティ技術Ⅲ	お手入れやコスメに対する正しい知識を習得する。美肌検定対策。	2後	120	8	○			○			○	
○			パーソナルスタイリング	パーソナルスタイリストとして師知識向上。検定対策。	1後	60	4	○			○			○	○
○			トータルメイク	様々なシチュエーションに合わせたメイク提案を学ぶ。	1前	60	4	○			○			○	
○			接客マナー	ビジネスマナー、接客マナーを習得する。即戦力となる対応を身につける。検定対策。	2前	60	4	○			○			○	
○			デザイントレーニング	デザイン力と発想力を養いトータルコーディネート力を身につける	2後	60	4	○			○			○	
○			トータルセールス	お客様のニーズに合わせた提案力を身につける。	2後	60	4	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅰ※	業界で活躍するプロから最新の技術を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅱ※	業界で活躍するプロからヘアメイクを目指す上で、必要なスキルを学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅲ※	業界で活躍するプロのヘアメイクから感性を養い作品作りに活かせるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅳ※	業界で活躍するプロのヘアメイク業界へ即戦力となれる技術、知識を学ぶ	2後	30	2	○			○			○	
		○	アシスタントプログラムⅠ※	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識を身につける。	1前	30	2	○			○			○	
		○	アシスタントプログラムⅡ※	ヘアメイク業界について学び、現場に応じた技術・知識を身につける。	1後	30	2	○			○			○	
		○	アシスタントプログラムⅢ※	ヘアメイク業界について学び、現場に応じた技術・知識を身につける。	2前	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	メイクアップⅠ	道具の扱い方を覚えスキンケア、ベースメイクが出来るようになる。モデルに合わせた補正メイクが出来るようになる。	1前	60	4		○		○				○	
		○	メイクアップⅡ	テーマに合わせたメイクアップ技術を学び、舞台メイクなどの技術が出来るようになる。	1後	60	4		○		○				○	
		○	ヘアスタイリングⅠ	ヘアスタイリングの基術が出来ようになる。イメージ別のヘアスタイルが作れるようになる。	1前	60	4		○		○				○	
		○	ヘアスタイリングⅡ	イメージに合わせたヘア技術と成人式のヘアスタイルが出来るようになる。	1後	60	4		○		○				○	
		○	着付け	着付けの基本技術を身に付け、自分で着物を着る、人に着物を着せることが出来るようになる。着付け（初伝・中伝）に合格する。	1前	60	4		○		○				○	
		○	ファッションコーディネート※	ブライダルにおける、ドレスフィッティング技術が出来るようになる。	2前	30	4		○		○				○	
		○	スチールヘアメイクⅠ	スタジオ撮影に向けたヘアメイク技術を身につける。	2前	60	4		○		○				○	
		○	スチールヘアメイクⅡ	外部撮影に向けたヘアメイク技術を身につける。	2後	60	4		○		○				○	
		○	スチールヘアメイクⅢ	多様な撮影環境でも対応できるヘアメイク技術を身につける。	2後	60	4		○		○				○	
		○	ブライダルヘアメイク	婚礼の形式やドレスに合わせたヘアメイク技術を身につける	2前	60	4		○		○				○	
		○	ブライダル総合※	ブライダルブーケや花を使ったヘッドピース作成が出来るようになる。	2前	30	4		○		○				○	
		○	特殊メイクⅠ	傷や骨格補正藤の特殊メイクが出来るようになる。	2前	60	4		○		○				○	
		○	特殊メイクⅡ	エアブラシの基本技術を学び、メイクやボディペイントに生かすことが出来る。	2後	60	4		○		○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	卒業制作	学習の集大成として修得したヘアメイク技術を駆使して作品を創りだす。	2後	60	4		○		○			○	
		○	美容総合技術	サロン系技術や知識を身に着けることができる。	2後	60	4		○		○			○	
		○	デザインヘアメイク	創造したイメージをヘアメイクを通じてデザイン出来るようになる。	2後	60	2		○		○			○	
合計															
					単位数 62	最低履修 1,710単位時間(114 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
定期試験及び臨時試験（論文・レポート含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。また、所定の教科科目及び所定の授業時間数【卒業認定要件：必修1,710時間（114単位）を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業を認定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週